

2018 年度・ニュージーランドに学ぶ 社会福祉（幼児教育 & 高齢者）研修の旅

＜期間＞2018 年9月8日(土)～9月 16 日(日) <7 泊 9 日>

自立と共助のバランスが浸透し、**中負担&メリハリ福祉国家**とも呼べる社会全体を形成しているニュージーランドの社会福祉を学ぶ旅に参加してみませんか？

子育てしやすい国、母親になりたい国、女性が社会で活躍できる国等の各種世界指標においても、高負担&高福祉国家の北欧諸国等に続き、常に上位を占めるニュージーランドは、日本の近未来への取り組みヒントが沢山かかれています。

幼少期も、子育て期も、老齢期も、各々が自立を目指した社会システムとは一体どのようなものなのか。本研修では、幼児教育と高齢者福祉の2つの側面からアプローチし、一人一人のライフステージ毎における「ニーズ」(本人だけでは解決できない領域)を起点とした段階的かつ共助的な多様な選択肢のある社会を学びます。

＜現地活動費＞ **298,000 円**

(航空券は含みません)

※ご希望の方には航空の手配も致します。

＜募集人員＞ **16 名**

＜実施最小人員＞**12 名**、職員同行)

＜訪問都市＞ **NZ クライストチャーチ市**

※参加費の他に訪問施設へのお土産や現地のみなさんとの交流会などの共通費として、別途 5,000 円必要になります

＜このツアーの特徴＞

※この事業は Kiwi-J-Ana Ltd.(KJANZ)の全面的なご支援をいただいて実施しています。
※クライストチャーチ市に腰を据えて活動をしますので、町の様子や雰囲気を十分に味わうことができます。朝の散歩など町の散策も積極的に楽しんでいただきます。
※参加者全員参加による報告集を作成致しますので御協力ください。

＜多様なニーズに対応する高齢者施設＞



3段階の福祉サービスがピレッジとして一体化されている
(リタイアメントビルディング視察研修 2017 の風景より)

＜弾力性のある幼児教育 (3～7 歳)＞



←
5 歳誕生日から
小学校入学

→
0-5 歳のラーニングストーリー
(学びの内面観察記録)

＜羊からワインへ:産業転換も進む＞



	ひにち	活動内容 (予定)	食
1	09月08日 (土)	成田発夕方便で担当者もこの日に出発します。よろしかったらご一緒にどうぞ。	機
2	09月09日 (日)	(各自)オークランド乗り換えで昼頃クライストチャーチ着 現地集合の方もクライストチャーチ国際空港集合、プログラム開始 滞在オリエンテーション、ホームステイ宅へ (宿泊は全てホームステイ)	機 F D
3	09月10日 (月)	【研修①】幼児教育(ECE)施設(2ヶ所) 幼保統一カリキュラム Te Whariki に準じた多様な選択肢があり、子ども一人一人の学びのアセスメントであるラーニング・ストーリーを理解します 【WS①】NZ の社会福祉全般の特徴 実際の現場視察を各自が振り返り、現地コーディネータを交えて、NZ 幼児教育や社会福祉の特徴を考察します	B F D
4	09月11日 (火)	【研修②】高齢者施設 & 特別支援施設(2ヶ所) 高齢者施設(Retirement Village)と特別支援施設(Special Needs Support)を訪問します 【WS②】本日の振り返り。各自からコメント	B F D
5	09月12日 (水)	【研修③】オプション:地域社会環境調査 (班分けによる観光、出発前確認)(選択例) ワイナリー&羊牧場、博物館&植物園、マオリ文化体験、乗馬、体験、日帰り温泉、震災復興観光、自由行動他。	B F D
6	09月13日 (木)	【研修④】高齢者施設 & 社会福祉団体(2ヶ所) 高齢者施設(Retirement Village 等)の別パターンを学びます。その後、社会福祉関連公共組織又は NPO 団体訪問を予定します 【WS③】本日の振り返り。各自からコメント	B F D
7	09月14日 (金)	【研修⑤】小学校 & 現地日本人との交流 5歳入学の Primary School で幼保小連携、インクルージョン型特別支援を学びます。その後現地子育てで親たちとのランチ交流会を予定 【WS④】リフレクション(研修総括) 現地コーディネータを交えて、視察研修全体の取りまとめを行い、各自から発表をしてもらう。夕食は打ち上げ懇親会	B F D
8	09月15日 (土)	ホームステイファミリーとの週末アクティビティ又は自由行動	B F D
9	09月16日 (日)	ホームステイ先より早朝現地空港集合、プログラム終了、現地解散 (各自)現地発(オークランド乗換)同日夕方成田到着予定	機

※交通機関や現地の事情により実施日や視察・研修の内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※事前の説明会にはできるだけご参加ください。

※視察についてホームページで紹介しています、是非御覧ください。

※往復の航空券はこちらでも手配できますので、是非ご利用ください。

※食事 (B:朝食)、(L:昼食)、(D:夕食)、(F:自由食)、(機:機内食)(軽:軽食)

企画: **KJANZ 代表 及川孝信** (現地セミナーリーダー)

ニュージーランド社会福祉交流企画

代表: **中能孝則** (nakayoku takanori) 元日野社会教育センター館長

電話 **090-5558-1400** E-Mail: **nakayoku-t@hino-shakyu.com**

後援:公益財団法人社会教育協会

申込み: 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル3F.

公益財団法人社会教育協会 内

ニュージーランド社会福祉交流企画 (中能孝則)

「ニュージーランドからのメッセージ」

(現地セミナーリーダー: 及川孝信 クライストチャーチ在住)



今日的なニュージーランド社会像は、高負担&高福祉型社会の北欧諸国と比べると、中負担&メリハリ福祉型社会と呼べるでしょう。歴史的には 1960 年代迄はエンジェル国家(低負担&高福祉)を実現してきましたが、1970-80 年代のどん底経済を経て、1990 年代から生まれ変わった国家と言えます。現代では、雇用・教育・地域全体を通して、家族最優先社会(ファミリー・ファースト)が浸透しており、毎年人口自然増 1%以上を実現し、人口構成では 4 人に一人が 20 歳未満の子ども・若者社会でもあります。

子育て世帯が全世帯数の4割以上のマジョリティ(多数者)を占めているので、こども・家庭福祉分野も充実し、幼児教育分野では「テファリキ」、健康福祉分野では「プランケット」がキーワードとなっています。高齢者福祉においても、迫りくる高齢化率の高まりと、将来的な財政負担圧迫の見通しを鑑みた新しい取り組みが始まっています。

この国に長く暮らすほど「自立」とは何かを考えさせられます。それは、自己決定と自己責任がセットであることを改めて気付かされると共に、各々のライフステージの終盤になって準備するものではなく、0 歳から始まる幼児期、学業・仕事に取り組む若年期、子育て世代を経て、晩年・終末期までの一貫したラーニング・メッセージであることが理解できます。

人口わずか 460 万人の南半球の小国・ニュージーランド社会を、私は「世界の良いとこ取りの」システムと呼んでいます。教育にせよ、福祉にせよ、北欧や北米など世界最先端な考え方をどんどん NZ 流に実験導入してアレンジし、常に変化を恐れない自浄作用と市民自立志向を促しています。官民の役割分担におけるバランスも良く、教育と福祉分野だけでも複数年分のスタディツアーが組めるくらい奥深い仕組みです。つまり、ニュージーランドを学べば「世界」を学べるのです。

「思い立ったが吉日！ 善は急げ！！ 百聞は一見に如かず！！！」

長野県県民文化部次世代サポート課
次世代育成推進幹 竹内 延彦

私は現地在住の及川孝信さんと十数年来のお付き合いをさせていただいており、彼からニュージーランドでの子育てや教育、新しいビジネスの話などをいろいろ聞いた際に、「すごいなあ」「いいなあ」と、いつも感じておりました。しかし、一度も現地に行ったことが無く、正直なところ「なぜニュージーランドではそのようなことが可能なのか」掴みきれずにおりました。

そんな折、今年 8 月に思いがけず 2 週間の現地視察ができることになり、このチャンスを逃すものかと思いついて自費でニュージーランドを訪問しました。ニュージーランドで体感した幼児教育、学校教育、特別支援教育、働き方改革、行政システムなどはいずれも目からウロコが落ちることばかりでした。さらに驚いたのはそんなニュージーランドがわずかこの 30 年間の間に大きく社会変革を遂げたということでした。私は、現地の人々の話を直接聞き、その生活に触れたことで、日本が抱える課題がより明確になり、その解決に取り組む大きな勇気をもらうことができました。このツアーを通して、ぜひみなさんにもニュージーランドの風を感じていただければ幸いです。

人は幾つになっても、「知りたい！ 見たい！！ 行きたい！！！」ときが青春真ただ中です！



<参加に当たって>

■現地費用に含まれるもの

日程表に記載された、現地での団体行動中の視察、移動のための乗り物料金、オプションを除く観光料金、ホームステイ滞在料金、視察・通訳料金、随行員費用。

■現地費用に含まれないもの

電話代などの個人的費用、現地への土産代、現地関係者との交流会の費用、傷害、疾病に関する海外旅行保険加入費(必須条件)、ホームステイ以外の宿泊希望の場合の宿泊料金、飲み物・自由食の代金、フリータイム、オプションの代金。現地までの往復航空券、旅券印紙代、渡航手数料、成田空港をはじめ各地空港施設使用料、航空保安税、日本国内における自宅から成田空港までの交通費。

■申し込み方法

申込書に必要事項をご記入の上、ニュージーランド社会福祉交流企画(中能孝則)へ申し込んでください。
その際申し込み金 ¥30,000(現地費用に充

当)が必要になります。申し込み金をいただいた時点でこの視察への参加が成立するものといたします。なお、残金は 7 月 15 日までに下記の口座へお振込みください。

<振込先>

郵貯銀行 普通預金
店番 018 記号 10130
番号 9393154
加入者名:ナカヨク タカノリ

※どこの銀行からでも振り込むことができます。

■取り消しについての払い戻し

お客様はいつでも次に定める取り消し料をお支払いいただいで今回の契約を解除することができます。
視察開始日の
60 日前～29 日前……参加費の 10%
30 日前～14 日前……参加費の 30%
13 日前～04 日前……参加費の 40%
3 日前～前日 ………参加費の 50%
出発日当日 ………参加費の 100%

■視察の実施人数

参加者が 12 名に達しない場合は今回の視察を中止することがあります。その場合は、7 月 15 日までにご通知いたします。

■視察についてのお問い合わせ

この事業は中能孝則(元日野社会教育センター館長)が企画運営しています。往復の航空券の手配や、活動内容並びにオプションの相談等がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

■往復の航空券の手配について

この事業を担当する中能は、現地までの往復航空券を(株)ヴィエック・インターナショナル(VIEC)に手配していただいています。現地空港での手続きなどをスムーズにするためにも、是非ご利用下さい。
ご希望される方は中能までご一報いただければ航空券の手配をいたします。尚、航空券等に関する諸費用は(株)ヴィエック・インターナショナルより各自のところに請求が参りますので、期日までに納めてください。

(2018 年 1 月 10 日作成)